

(ロシア囲碁連盟 2015年6月17日)

日本から囲碁大学生選手団が、青年交流プログラムで訪露

2015年6月29日から7月6日まで、日本から囲碁大学生選手団がモスクワとサンクトペテルブルクを訪問し、囲碁交流を行う。囲碁とは、古代中国で2千年前から5千年前に誕生した深い戦略を駆使した知能的、理論的ボードゲームで、チェス、チェッカー、ブリッジとともにワールドマインドスポーツゲームズの1つに数えられている。

本プログラムは、ロシア連邦教育科学省及び日本国外務省の後援の下、ロシア囲碁連盟による開催で、1999年から日露両国間の青年交流プログラムの枠内で実施される。

囲碁が同プログラムで実施されるのは初めてで、2014年11月にロシアの囲碁選手団26名一行が訪日し、第一弾が実施された。

日本からの囲碁大学生選手団は、2015年6月29日から7月6日まで11人の大学生に加え、日本棋院から小松大樹二段(プロ棋士)も参加し、計12名がロシアを訪問する。

日本棋院は、現代に囲碁を発展させた伝統あるプロ棋士団体であり、小松大樹プロと日本の囲碁選手たちの訪問は、全ロシア囲碁界にとって大きなニュースになるだろう。

主な行事：

モスクワでは小松大樹プロによる囲碁セミナーが実施され、日露両国の囲碁選手による親善対局が実施される。

サンクトペテルブルクでは、日本からの大学生囲碁選手団がロシア最大の囲碁大会であるロシア杯に出場する。

6月30日 19:00 日露親善対局

7月 1日 18:30 小松大樹プロによる囲碁セミナー

19:00 親善対局

7月 3日 20:00 親善対局

7月 4日～5日 10:00～18:00 ロシア杯

以上